

鯖江市公共施設個別施設計画 概要版

計画の位置づけ

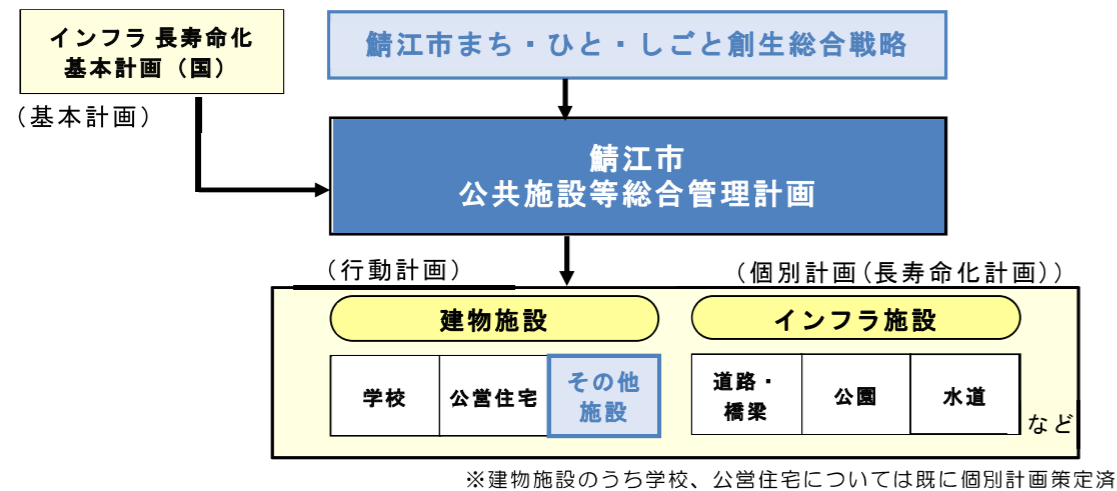
●背景・目的

近年、高度経済成長期に整備された公共施設等（建物、インフラ）の老朽化対策が全国的に大きな課題となっています。本市においても、昭和 50 年代から多くの公共施設等が整備され、老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎えようとしています。しかしながら、昨今の厳しい財政事情もあり、全ての施設を更新し、今後も適切に維持し続けることは困難な状況となっています。

本市では、平成 29 年 3 月、「鯖江市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定し、公共施設マネジメントの取組（長期的な視点で、施設を最適に維持管理・有効活用することで、市民サービスの維持・向上と安定した財政運営を両立させる取組）を推進しており、令和 4 年 3 月に見直しを行っています。

「鯖江市公共施設個別施設計画（以下「本計画」という。）」は、インフラ長寿命化基本計画に基づく分類ごとの個別計画として令和 2 年 3 月に策定し、取り組みを進めてきましたが、今回、総合管理計画の改定に合わせて、計画の見直しを行うものです。

●計画の位置づけ



対象施設

本計画は、公共施設のうち個別計画策定済の施設（学校、市営住宅等）を除く 77 施設を対象とします。

※令和 3 年 9 月末現在

	施設数	棟数	延床面積
1 行政系施設	4	14	10,571 m ²
2 産業系施設	2	6	2,600 m ²
3 保健・福祉系施設	4	4	7,663 m ²
4 子育て支援系施設	25	29	14,396 m ²
5 市民文化系施設	25	38	41,577 m ²
6 社会教育系施設	5	6	9,503 m ²
7 スポーツ・レク施設	12	30	26,339 m ²
	77	127	112,648 m ²

※端数処理の関係で、見た目上、合計と内訳が合わないところがあります。

計画期間

本計画の計画期間は、

**令和 4 年度（2022 年度）から
令和 13 年度（2031 年度）**

までの 10 年間とします。

本計画の実効性を高めるため、基本的な方向性等については、概ね 5 年毎に計画全体の見直しを行うものとします。

また、事業の進捗や点検結果等を踏まえ、個々の修繕等の実施にあたっては、毎年度見直しを行うものとします。

取組の方向性と対策の優先順位の考え方

●取組の方向性

総合管理計画では、基本方針として「1 公共施設の安全性を確保しつつ、計画的かつ効果的な改修を行うため、施設の改修履歴と現地調査の結果を踏まえて、施設の長寿命化とコスト平準化を推進する」としています。

また、今後 40 年間における建物施設の延床面積の削減目標を約 20%としています。

●優先順位の考え方

「施設重要度」と「総合劣化度」から「保全優先度」を I ～ V の 5 段階で設定します。

※同一の保全優先度内においては総合劣化度の低い順（劣化が進んでいる順）を原則とします。

			総合劣化度		
			649点以下	650～749点	750点以上
施設重要度	高い	今後とも行政自らが施設とサービスを提供していくべき施設 または、災害時に活動拠点となるなど防災上主要な施設	I (最優先)	II	III
	普通	一般的な施設（上記以外の施設）	III	IV	V

○施設重要度：行政系施設（市政運営及び防災上の拠点）と公民館施設（まちづくりの拠点）を「高い」に設定

○総合劣化度：経年と主要部位別の劣化度を点数化します ※小さいほど劣化が進行（1,000 点満点）

個別施設の状態等の把握について

「公共建築物点検マニュアル（令和 3 年 4 月作成）」に基づき、施設所管課職員による現地調査（劣化状況調査）を実施し、継続的に劣化状況の把握に努めています。現地調査では、部位ごとに劣化の有無を把握するとともに、構造部、屋根・屋上、内部、外壁、機械設備、電気設備の 6 分類について、劣化度を A ～ D の 4 段階で評価しています。

なお、劣化度評価については、担当者間、施設間のばらつきができるだけ小さくなるよう、経年や工事履歴・法定点検結果なども考慮して調整しています。

＜劣化度の主な考え方＞

A：概ね良好	C：広範囲に劣化
B：部分的に劣化	D：早急に対応が必要



対策内容と実施時期の考え方について

●目標使用年数の設定

本市が保有する公共施設等について、既存の建物の使用年数は、標準的な耐用年数である 60 年を基本としつつ、計画的な保全に取り組むことにより、80 年を目標に長期使用を図っていくこととします。なお、木造及び軽量鉄骨の公共施設については、50 年を目標に長期使用を図っていくこととします。

●整備水準の考え方について

今後の修繕・更新にあたっては、最小の経費で効果の高い保全が行えるよう、ライフサイクルコスト（LCC）を勘案した上で、「安全面」「機能面」「環境面」から最適な整備レベルを設定して取り組みを進めます。

●実施時期の考え方について

建築年（又は更新年）を基準とし、部位別の標準的な修繕・更新サイクルにもとづく実施時期を整理したうえで、工事の実施状況や劣化状況等に基づいて実施時期を調整します。標準的な修繕・更新サイクルについては、「平成 31 年版 建築物のライフサイクルコスト（国土交通省監修／一般財団法人建築保全センター）」をもとに設定することとします。

分類別の対策内容と実施時期

●対策内容と実施時期

(令和4年3月末現在)

FM分類	施設名称	棟名称	建築年度	経過年数	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027~2031 R9~R13		
1	行政系	市庁舎	書庫	1988	33					■		
2			新館・消防庁舎	1994	27	●	■					
3			別館	1979	42					▲●		
4			本館	1962	59					▲●		
5	産業系	越前漆器伝統産業会館(うるしの里会館)	1979	42			●		■▲●			
6	保健・福祉系	健康福祉センター(アイアイ鯖江)	健康福祉センター(アイアイ鯖江)	1994	27		■▲●					
7			グレースフルわかたけ(ケアハウス)	2005	16			▲●	■▲			
8			いきいき未来館	2001	20	●					■▲	
9			高齢者憩の家	1999	22						■▲●	
10	子育て支援系	神明保育所	神明保育所	1981	40					▲●		
11			中河保育所	1997	24	■●	■●				▲	
12			立待保育所	1979	42	●					■▲	
13			石田保育所	1990	31	●	▲	■●			■▲	
14			吉川保育所	1984	37					■▲●		
15			かわだ保育所	1978	43	●					■●	
16			ゆたかこども園	園舎	1979	42					■●	■▲
17				こども園	2010	11						■▲
18			せきいんこども園	園舎	1990	31	■					▲●
19				しんとくこども園	2019	2						▲●
20			本町児童センター	1980	41						■▲●	
21			舟津児童センター	1985	36						■▲●	
22			小黒町児童センター	1984	37						■▲●	
23			柳町児童センター	1993	28						■▲●	
24			長泉寺児童センター	1992	29				■▲●			
25			新横江児童センター	1980	41						■	
26			鳥羽中児童センター	1986	35						■▲●	
27			神中児童センター	1981	40					■▲●		
28			曲木児童センター	1986	35						■▲●	
29	石田児童センター	1979	42			■▲●						
30	平井児童センター	1983	38						■▲●			
31	東部児童センター	1990	31						■▲●			
32	市民文化系	新横江公民館	新横江公民館	1987	34		■▲●	■▲●				
33			神明公民館	1969	52	▲●	●				■	
34			片上公民館	1981	40						■▲●	
35			立待公民館	1976	45						■●	
36			吉川公民館	1981	40						■▲●	
37			豊公民館	1986	35				■▲●	■▲●		
38			北中山公民館	1985	36						■▲●	
39			河和田コミュニティセンター	1972	49			▲●	●		■	
40			旧吉川公民館	1974	47						■	
41			旧豊公民館	1970	51			■				
42			環境教育支援センター「エコネットさばえ」	2004	17				■▲●	▲●	●	
43			市民活動交流センター	1978	43							
44			ユーカーさばえ	本館	1978	43						■
45				体育館	1982	39						■▲●
46			青年会館	1982	39							▲
47			ふれあいみんなの館・さばえ	1998	23							■▲●
48	高年大学	1981	40		■●					▲		
49	地域交流センター「市民ホールつつじ」	2005	16					■▲●				
50	夢みらい館・さばえ	1981	40	●	●				●	■▲		
51	霽陽会館	1984	37					■▲		▲●		
52	文化センター	1978	43						▲●	■▲●		
53	社会教育系	文化の館	文化の館	1997	24	▲	▲		●	■▲●		
54			まなべの館	1977	44			▲●	●		■●	
55	スポーツ交流館	1994	27	●						■▲●		
56	スポーツ・レク系	神明健康スポーツセンター	神明健康スポーツセンター	1989	34						■▲●	
57			立待体育館	1983	40			■			■▲●	
58			鯖江広域西番スポーツセンター	1986	37					■		
59			ゲートボールセンター	1986	37						■▲	
60			三六武道館	1979	42							■▲
61			弓道場	1983	38					■▲●		
62			河和田体育館	1983	38				■▲			
63			多機能型健康福祉施設神明苑	1975	46							
64	ラポーゼかわだ	体験棟	1997	24						■		
65		新宿泊棟	1997	24			●				■▲●	
66		宿泊棟	1995	26							■	

■：建築工事(屋根・屋上・外壁など)、▲：電気工事(受変電、LEDなど)、●：機械工事(空調、給排水、昇降機など)

※表に記載のない施設(棟)では、計画期間内に工事の予定はありません。

対策費用

施設の状態(劣化状況や工事履歴、目標使用年数までの残年数など)を踏まえ、棟別・部位別に修繕費、更新費、建替え費用を積み上げ、対策費用を算出します。

単価については「平成31年版建築物のライフサイクルコスト」をもとに設定しています(一部の附属棟については、総務省の「公共施設更新費用試算ソフト」をもとに設定しています)。

試算によると、今後10年間に約88.6億円(年平均8.9億円)が必要と見込まれます(計画期間内に建替え時期を迎える施設はありません)。

(単位:百万円)

分類	施設数	10年間の費用
行政系施設	4施設	1,040
産業系施設	2施設	143
保健・福祉系施設	4施設	614
子育て支援系施設	25施設	875
市民文化系施設(公民館)	10施設	1,368
市民文化系施設(市民文化施設)	15施設	1,684
社会教育系施設	5施設	1,025
スポーツ・レク施設	12施設	2,109
計	77施設	8,858

※上表はあくまでも概算(目安)であり、実際に工事する際にはあらためて積算が必要。

今後の継続的運用方針

(1) SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

本計画は、施設の適正な維持管理といった観点から、持続可能な社会を実現していくための計画としての意味を持ち、SDGsで定める国際目標の実現に不可欠なものです。本計画を適切に実施していくことで、SDGsの目標達成に貢献していきます。



※SDGs:平成27年(2015年)9月の国連サミットで採択された、平成28年(2016年)から令和12年(2030年)までの国際目標。地球上の誰一人として取り残さない、持続可能な世界を実現するための「17のゴール・169のターゲット」を定めたユニバーサル(普遍的)な取組として日本でも積極的に推進している。

持続可能な開発目標(SDGs)

(2) 情報の整理と活用

今後、効果的で効率的な施設整備を推進するためには、建物の状態について適切に把握することが必要です。そのためには法律に基づく点検(法定点検)を確実に実施していくとともに、「公共建築物点検マニュアル」をもとに、施設管理者による定期点検を徹底します。

また、建物の状態や改修履歴などのデータについて、効率よく蓄積、更新するため、公共施設管理システムを活用し、点検結果を次の点検等に活かしていくメンテナンスサイクルを構築します。

(3) 公共施設等総合管理計画の見直しとローリングによるフォローアップ

本計画の上位計画である総合管理計画は、公共施設等総合管理計画推進会議にて計画の進捗管理を行い、今後の財政状況や社会情勢の変化に応じて、概ね5年ごとに見直し等を行うこととしていることから、本計画で掲げる方針等についても、必要に応じて見直しを行います。

本計画では、各施設を今後も維持するものとして当面10年間の対策内容と実施時期を整理し、対策費用を試算していますが、費用はあくまでも概算であり、今後、各年度の予算編成の中で、他の公共施設の状況も踏まえつつ、個別の事業費を更に精査していく必要があります。

各年度の事業を適切に実施していくため、事業の進捗状況をモニタリングしたうえで、直近5年間の事業についてローリング方式※により見直しをかけることとします。

※ローリング方式…計画の内容と実績との整合をはかるため部分的な修正を毎年度行う手法。